



学校だより

令和7年度6月号

令和7年6月16日

校長 小澤 秋仁

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>

ゲームのように

校長 小澤 秋仁

ニュースを見ていたら「トム・クルーズ ギネスに認定」とテロップが流れました。

映画『ミッション：インポッシブル ファイナル・レコニング』の撮影中、16回の燃えるパラシュートジャンプを行い、トム・クルーズ氏が驚異的なスタントを成功させ、ギネス世界記録に新たな名を刻んだという内容です。トム氏は62歳。今なおアクションシーンにスタントを使わず、自身で挑むのですから、鍛え方が違います。1週間ほど前に、その映画の宣伝のために来日したトム氏とマッカーリー監督が、映画『ゴジラ-1.0』の監督・山崎貴氏と対談したVTRを観ていたの、気になり目に留まりました。

この対談でトム氏が『伝える』ことに言及する場面がありました。「自ら劇場を訪ね、観客として作品を観る。自分の演技を観ることに没頭せず、観客に『伝わっているか』を意識する。」相手に伝わって初めて作品となるということです。また、彼は「俳優学校には通わなかったが独学で映画を学んだ。脚本家、監督、編集、衣装、制作、スタント、一緒に働きすべてを勉強した。」俳優として演技力を高めるために、映画を創り上げる全てを学んだのです。演技力とは、彼にとってみれば観客に伝える力であるといってもよいでしょう。

さて、清瀬中も対談を行っています。5月の末より、3年生と私が、一日につきひと班で5～6名と共に校長室にて給食をいただきながら対話しています。話が弾む班があれば、沈黙が続いてしまう班もあります。“与えすぎない”を実践している清瀬中ですが、“沈黙”に耐え切れず私から質問を与えてしまう始末。「はまっていることは？」様々な回答が生徒から返ってきますが、「ゲームにはまっている」という回答が多いことに驚きます。「勉強にはまっている」と答える生徒は…。なかなか「はまっています」とは答えてくれない勉強、数学はその中のひとつですが、上田彩瑛著『数学を武器にしてみよう!』（PHP 研究所）によれば「数学はゲームだ」と論じているのです。「数学の問題ではゴールは一つだけ。先人の思考（定義や定理）を利用し、頑張ってゴールにたどり着こうとする。そして問題が解けた時に得られる達成感は、ゲームで敵を倒す、あるいはステージをクリアしたときの達成感と似ている。」確かに、ゲームに没頭してしまう理由に似ていることを確認できます。また、「数学のテストで何を判断しようとしているのか。一つは、解答を導き出すための論理を組み立てる力。そしてもう一つは、相手にわかるように説明する力。」数学の解答では、論理の飛躍は認められません。自分の思考過程を、相手に伝わるように書く必要があります。つまりは、数学を学ぶということは、論理的に相手に『伝える』力を身につけることに繋がっているのです。

以前のインタビューで、トム氏は自身が演じるアクションシーンについて、スタントに耐えうる体づくりの事とともに、「ひとつひとつクリアしていくことが楽しいんだ」と想いを語っている場面がありました。トム氏は、映画に関わる全ての事を勉強したと言っていました。ゲームのようにステージをクリアして達成感を得てきたと察することができます。本校は今年度『自分の考えを伝える力を育成する』ことに重きを置いています。トム氏の生き方、上田氏の理論から、『伝える力』の育成は、小さな目標をたて、ゲームのようにクリアしていく感覚で取り組むことで、少しずつ前に進む必要があることを認識しました。また、3年生が決してはまっていると言わなかった“勉強”についても、ここに大きなヒントが隠されているようです。

ランチタイム対談の沈黙、これは私に課されたミッションです。論理立てて策を練り、ゲームのようにクリアしてみます。代わりにスタントを使うわけにはまいりませんから。

自分の考えを伝える力

5月号でもお伝えしたとおり、今年度清瀬中は、特色ある教育として、自分の考えを伝える力の育成を目指しています。2年生の理科は、“水の電気分解”について実験結果を分析していました。グループごとに互いの意見を交換しました。自分とは異なる角度からの意見に耳を傾けて



いました。また、発表する力の育成を目指します。英語では、パソコンを使って英語によるスピーチを準備していました。他言語によるスピーチは、脳を活性化します。

福井県福井市森田中学校との交流

3年生は、7月2日からの修学旅行の準備が進んでいます。今年度は、福井、石川、富山、長野の各県を巡ります。先立ち、修学旅行交流委員会が、5月28日に、福井市にある森田中学校の3年生とwebで交流をもちました。実際に7月2日に森田中に伺い、清瀬中と交流をもつことになっております。その準備として、各校の紹介に始まり、交流当



日の内容を話し合うことができました。校内で議論を深め、もう一度、会議を行い、当日を迎えます。

グループエンカウンター

昨年度に続き、構成的グループエンカウンターに取り組んでいます。生徒同士の絆を深めるこのイベントを生徒会の主催で取り組みました。今回、web配信によ



って生徒会から出題されました。ICT機器を利用しつつ、人と人とのつながり深めて参ります。

避難所運営訓練

6月7日(土)に清小・清中避難所運営協議会主催で避難所運営訓練が行われ、本校からも参加しました。受付に始まり、新聞紙スリッパの作成、居住スペースの作成、段ボールベッドの組み立て、仮設トイレの設置などを行い、有事における避難所の解説準備について学びました。受付や、食料配布などを本校生徒が担当しました。



化石の発掘

1組の理科で化石の発掘をしました。

泥岩の層にマイナ
スドライバーの先端
を合わせ、金づちで
割っていくと、植物
の葉の化石が出現
しました。一人では



うまくできず仲間に押さえてもらいながら、少しずつ力を加え、化石を取り出していました。きれいに割れ目が入っても、化石が存在するとは限りません。集中力を必要とする作業です。

師弟同行

6月4日にPTA・地域支援本部の皆様の協力の下での運動会が開催されました。雨で延期のため平日開催となりましたが、多くの方々にご来校賜り声援を贈っていただきました。生徒主体で振付け隊形を考えたダ



ンスに教員も参加。また、応援で声をからす教員も。師弟同行で盛り上がりました。また、先日は前多摩永山中学校校長で学校心理士の佐藤信雄先生を講師にお招きして「思春期における生徒の対応と支援について」と題し、研修を行いました。教員も生徒と同様に、勉強をしています。